

2月末には保護者向け授業と企業ブース展示を実施 帝京大学小学校とファミワンの「カラダとココロの包括的 性教育プロジェクト」の2025年度全学年の授業が終了

「子どもを願うすべての人によりそい 幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、法人の従業員向け福利厚生や自治体の住民向け支援を行うヘルスケアサポートサービス「ファミワン」<https://famione.com/benefit/>などを展開する株式会社ファミワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石川勇介)は、帝京大学小学校(東京都多摩市、校長 石井 卓之)と共同で行われた「カラダとココロの包括的性教育プロジェクト」による授業が全て終了しました。

▼「カラダとココロの包括的性教育プロジェクト」特設サイト

<https://project.famione.com/cse>



帝京大学小学校とファミワンの「カラダとココロの 包括的性教育プロジェクト」の2025年度全学年の授業が終了



pom ponette
junior

Panasonic

あなたの未来を強くする
住友生命

unicharm
ユニチャーム

ヤマ

Minotte

本プロジェクトは、小学1年生から6年生までの発達段階に合わせ、各学年ごとにカスタマイズした内容および伝え方で包括的性教育を実施する、全国的にも先進的な取り組みです。

1月から3月の間に学年毎の授業が実施、さらに2月28日土曜にて保護者向け性教育講座が実施されました。保護者向けの性教育を実施することで、家庭と学校が連携した包括的な性教育を促進します。

▼各学年ごとのテーマ

- ・1年生「はじめての性教育-プライベートゾーン-」
- ・2年生「はじめての性教育-よいタッチと悪いタッチ-」
- ・3年生「はじめての性教育-NO!GO!TELL!-」
- ・4年生「自分のからだを知ろう、異性のからだを知ろう」
- ・5、6年生「こころの性 LGBTQを知る」
- ・保護者「こどもへの性教育 なにをどう伝えたらいい？」

※詳細は下記特設サイトにレポートを掲載しています。

<https://project.famione.com/cse>

早期の性教育は重要であり、正しい知識を身につけることは、子どもたちが自分自身と他者を尊重し、健やかに成長していく上で不可欠です。本プロジェクトでは、帝京大学小学校とファミワンは、今後も各学年の理解度に合わせた性教育プログラムを提供し、子どもと大人が共に学び、成長できる機会を創造していきます。

■今年度のプロジェクト終了を迎えて

2025 年度本プロジェクトの協賛を賜りました企業ご担当者様より、メッセージをいただきましたのでご紹介させていただきます。

住友生命保険相互会社 東京西支社長 吉田 佳代 様より

次世代への教育の大切さ」について、ファミワンさまの知見を活かして子ども達の未来のために授業の機会を設けられる取り組みに強く共感し、様々な形でご支援していきたいと考えております。住友生命では、かねてより将来を担う世代が健やかで豊かに成長できる場を作る取り組みを進めて参りました。“住友生命「Vitality」”による健康増進活動を中心とした活動は、「体の健康」だけでなく「体・心・社会的健康」を目指すウェルビーイングな社会の実現を目指しています。帝京大小学校様でのプログラムが、各ご家庭での健やかな成長の一助になることを期待しています。

パナソニック株式会社 ビューティ・パーソナルケア事業部「RizMo」担当 図師 和彦様より

カラダとココロの包括的性教育プロジェクトは、子どもたちが自分自身を理解するだけでなく、相手を思いやり、多様性を尊重する姿勢を学べる貴重な機会だと感じています。子どものごころから成長段階に応じてヘルスリテラシーを身につけることは、人生を支える大切な土台と捉えています。パナソニック「RizMo」は、女性が多様な選択肢の中から自分に合った対処を選ぶことを支援するとともに、周囲の人とのより良い関係性づくりにもつながるサービスを目指しています。本プロジェクトが今後も継続・進化していくことを願い、RizMo を通じてその一助となれるよう取り組んでまいります。

株式会社ナルミヤ・インターナショナル ご担当者様より

子ども服を通じてご家族の毎日に寄り添う(株)ナルミヤ・インターナショナルとして、本セミナーに協賛できたことを大変嬉しく思います。

セミナーを通じて、性の正しい知識を得ることは、子どもたちが自分自身を守るための大切なお守りになること、そして親子でオープンに話し合える環境づくりの重要性を深く実感いたしました。自分や他者を大切にすることを養う上で非常に重要であると改めて実感いたしました。

毎日身につける「お洋服」を通じて子どもたちに寄り添ってきた私たちですが、今後はこうした「学び」の機会もサポートし、子どもたちとご家族が笑顔で自分らしく成長できる社会づくりに貢献してまいります。

■企業展示ブースについて

保護者向け講座当日は協賛・後援によるブース展示が行われました。成長期の子どもたちが安心して過ごせる衣類や、生理期間を快適にサポートするアイテム、さらに栄養面から心身の健やかな成長を支える食品など、日常生活に取り入れやすい具体的な製品を展示しました。

来場者の保護者は、思春期に寄り添う多様な配慮のあり方を理解しやすく、企業展示ブースも盛況に終了しました。



■ 帝京大学小学校からのコメント



校長、帝京大学大学院教授
石井 卓之

「子どもたちに届く、正しい性教育」の実施が求められています。しかし子どもたちは、SNS上にある科学的根拠の乏しい情報を信用して悩んでいる状況があります。今こそ、学校・専門機関・家庭が一体となって、包括的な性教育を行う必要があると考えています。今回の取組もその一環であり、毎年内容を進化させています。

■ 『カラダとココロの包括的性教育プロジェクト』概要

【目的】各学年の児童の発達段階に合わせ正しい知識を身につけることで、子どもたちが自分自身の体と心を大切に、健やかに成長できるよう支援する

【期間】2026年1月～3月

【対象】帝京大学小学校 1年生～6年生の全校児童、および保護者

【詳細】<https://project.famione.com/cse>

■ ヘルスケアサポートサービス「ファミワン」の概要

組織や地域全体の風土づくり × 当事者の個別サポートの2軸でご支援

「ファミワン」は、専門家セミナーによる「風土醸成」と、オンライン相談による「個別の当事者サポート」により、企業の健康経営や女性活躍を支援する福利厚生提供、そして自治体における住民支援を行っています。利用者は看護師や心理士等の有資格者に匿名で相談でき、心理的安全性の向上や不調の未然防止に寄与します。また、企業や地域の課題に合わせてカスタマイズしたセミナーや研修により、当事者のみならず周囲の支援者も含めた組織・地域全体のリテラシー向上を図ります。

2018年の提供開始以来、小田急電鉄やTBS厚生会、大成建設、NTT、講談社等の民間企業から、神奈川県横須賀市や東京都世田谷区、広島県三原市、群馬県邑楽町、茨城県、奈良県、山梨県等の各自治体に幅広く導入。特にプレコンセプションケアや働く人々の健康課題、DE&I推進の領域において国内トップクラスの実績を有しています。

※本サービスは医療行為ではないため、診断や処方はいりません。

▶ファミワン 法人向け福利厚生サービス <https://famione.com/benefit>

▶自治体向け「妊活 LINE サポート事業」 <https://famione.com/local/>

専門家が妊活・不妊治療をフルサポート

全国で専門家^{*}50名がサポート

不妊症看護認定看護師・臨床心理士・胚培養士・管理栄養士・
保健師・薬剤師・キャリアカウンセラー・助産師など

※2024年3月現在

famione



<会社情報>

株式会社ファミワン

所在地 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号渋谷道玄坂東急ビル2F-C
代表者 代表取締役 石川 勇介
設立日 2015年6月1日
URL <https://famione.co.jp/>

- ▶ファミワン 法人向け福利厚生サービス <https://famione.com/benefit>
- ▶自治体向け「妊活 LINE サポート事業」 <https://famione.com/local/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ファミワン 広報担当 Mail: info@famione.com TEL:080-2243-6995